

日本学術会議 公開シンポジウム

レジリエンスを高める 生体医工学の最前線

レジリエンスとはダメージに対して回復・適応する生体本来の力のことです。最近、その力を適切な刺激で引き出す治療が注目されています。本シンポジウムではレジリエンスを高める生体医工学の最新の事例紹介とともに今後の方向性を議論します。

日時

2026年6月7日(日)

会場

トークネットホール仙台(仙台市民会館)

10:30~12:00

大ホール

(仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1)

参加無料
事前申込不要

プログラム

座長：松本 健郎 名古屋大学
朔 啓太 国立循環器病研究センター

10:30~10:35 開会挨拶・趣旨説明

松本 健郎 日本学術会議第三部会員, 生体医工学分科会委員長, 名古屋大学・客員教授

10:35~10:40 背景説明

革新的生体医工学の創成~ME研究推進委員会からの提言

原口 亮 兵庫県立大学・教授

10:40~11:40 レジリエンスを高める生体医工学研究事例紹介

1) クローズドループ神経調節による運動機能回復

小野 弓絵 明治大学理工学部・教授

2) 血液凝固のレジリエンス~循環器系人工臓器治療の後天性von Willebrand症候群発症メカニズム

白石 泰之 東北大学加齢医学研究所・准教授

3) レジリエンスを高めるニューロモジュレーション

高橋 宏知 東京大学大学院情報理工学系研究科・教授

4) 膝関節レジリエンス向上を目指したインテリジェントインソールの開発

荻原 直道 東京大学大学院理学系研究科・教授

11:40~11:55 総合討論

テーマ：レジリエンスを高める生体医工学の最前線

パネリスト：原口 亮, 小野 弓絵, 白石 泰之, 高橋 宏知, 荻原 直道

11:55~12:00 閉会挨拶

田中 真美 日本学術会議第三部会員, 東北大学副学長